



学校だより

令和4年度 12月号

学校法人松蔭学園
松蔭大学附属
松蔭高等学校
校長 川下 進

HP : <http://www.shoin.ed.jp/>

Blog : <http://www.shoin.ed.jp/category/information/>

高校2年 修学旅行

11月8日（火）より3泊4日で山陰・山陽地方へ修学旅行に行ってきました。修学旅行の実施は実に3年ぶり！幸いにも全行程良いお天気に恵まれ、楽しい4日間を過ごすことができました。勉強合宿で久しぶりの宿泊行事を体験した2年生は修学旅行でも、三密を避け手指消毒を徹底するなど感染対策も万全に努めながら、有意義な学校行事となりました。

○旅程表

8（火）	平和記念公園（ガイドさん付）見学—平和記念資料館見学
9（水）	松陰神社・吉田松陰歴史館→日本海展望→松江城—宍道湖畔夕景鑑賞
10（木）	出雲大社—松江ホーランエンヤ伝承館・松江歴史館
11（金）	蒜山高原→姫路城（ガイドさん付）見学→東京駅で解散

【生徒の感想文より抜粋】

私にとって今回の修学旅行はとても貴重な体験となりました。多くの見学地を訪れ、ガイドさんの話を聞くなどして、たくさんのことを学びました。

特に学んだことは、人とのつながりです。広島原爆ドームを見たり、松江や姫路でお城を見たりして一番に感じたことは、確かにそこには人がいて生活の営みがあったということです。どの時代でも誰もが懸命に生きていて、それぞれ自分の理想を叶えるために全力を尽くしてきたんだと思います。私は特別、勉強が得意なわけでも、何か人より一歩秀でているものを持っているわけでもありません。それでも懸命に努力し、自分ができる精一杯のことをしたいと思います。

「人間の本质は時代を経ても変わらない。だから過去に学ぶといい」という言葉があるように、私も過去から学べる人間になりたいです。

最後に・・・バスの運転手さん・ガイドさん、行く先々で温かく歓迎して下さった旅館・食事会場の方々、とても丁寧に案内して下さった広島・姫路城の現地ガイドの皆様、予定通り全行程を進めて下さったJTB添乗員さん、写真屋さん、皆様のおかげで大切な思い出がたくさんできました。本当にありがとうございました！

追伸。ご飯、おいしかったです！



税に関する高校生の作文

高校1・2年生では夏休みの課題として、税について考えをまとめて作文に書き、「税に関する高校生の作文」コンクールに応募しました。

高校1年生2名の作品が「北沢税務署長賞」に選ばれ、表彰されました。受賞者それぞれの作文を紹介します。

「法人税と働きがい」

1-1 齋藤 希星

税金といえばたくさん種類があり、そのどれもが私たちの生活に欠かせないものである。税金がなくなると医療費や義務教育費、国防費など生活を支えているお金のほとんどを自分たちで負担しなければならない。そんな、生きていくために不可欠な税金だが、まだ十五歳の私に馴染みのある税金は消費税ぐらいで、その他の税金については知らないことのほうが多い。

私の父は自営業をしている。数年前に法人化したのが、法人税の仕組みをしっかりと理解しているわけではなく、ほとんどを会計士の人の方に任せているようだ。「大人でも法人税ってよくわからない」と父でさえも言っていた。私も法人税とは聞いたことがあるだけで仕組みや必要性など詳しいことは何もわからない。

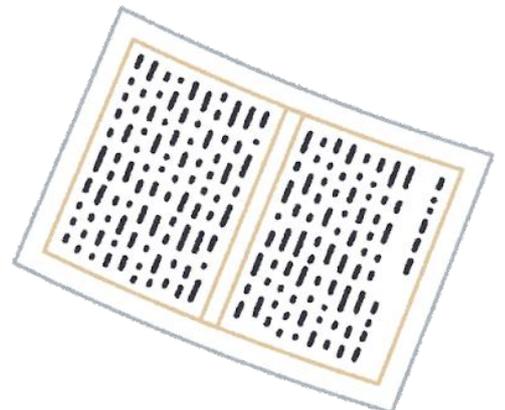
そこでまず法人税については何か調べてみると、法人の企業活動により得られる利益に対して課せられる税のことだとわかった。また、法人税は消費税と同じようにほぼすべての国にあり、国によって税率は様々だ。

世界各国の法人税率を比べてみると、一番法人税率が高い国はアラブ首長国連邦で五十五パーセント、一番低い国はキプロスで約十二パーセントとわかった。日本は約二十三パーセントなのでおよそ中間といえるだろう。法人税率を世界と比べてみると、利益の半分以上を法人税で徴収される国とそうでない国との差がとても開いていることがわかる。税金によって人々の生活が支えられているとはいえ、法人税率が高い国と低い国との差が四十パーセント以上もあると税率が高い国が可哀想に思えてしまう。

そこで法人税を減税することで企業の負担が減り、利益を増やすことができるのではないかと考えた。しかし、法人税を減税させることでその分国家財源が減少し、国の財政を圧迫してしまう。その結果、もっとも確実に税収が期待できる「消費税の増税」に繋がってしまうという。

企業の利益を優先させると国の財政が圧迫してしまい、国の財政を優先させると企業活動が成り立たなくなってしまう。増税をするにも減税をするにも、どちらかにかたよると一気にバランスが崩れてしまう。法人税について調べて、増税や減税に関する問題は非常にデリケートで難しいものだと改めて思った。

自身の利益のためだけに働くのではなく、日本の経済活動を活性化させ、日本国民の生活をより豊かにするために働いているのだという意識を持って働くことで、経済成長に繋がっていくと思う。私自身も将来、自分の利益のためだけでなく国や国民のために働くという意識の下で、やりがいのある職に就きたいと思う。



「様々な税」

1-2 金子 結衣

税金と聞いて最初に思い浮かべるのは消費税や所得税だと思います。私は他にどんな税があるのかを知りたくて調べてみました。すると他の国にはこんな面白い税金があることが分かりました。

例えば、イギリスのロンドンで導入されている渋滞税です。この税は区域と時間を決めその時間に決められた区域を走行する車に対して税金を課すというものです。導入した翌年には渋滞が三〇%も減ったそうです。他にもポテトチップス税といった肥満防止のための税金がありました。また、今は廃止されている珍しい税金もあります。

例えば窓税です。この税は建物についている窓の数に応じて税金をかけるという税金ですが換気性の問題等が発生し、廃止になりました。他にも独身税や脂肪税などがありました。

日本にも珍しい税金があります。例えば昔あった犬税です。これは国税ではなく自治体単位で設けられていた地方税のひとつで、犬税は昭和三〇年でも全国で二七〇〇もの自治体に導入されていました。

また他にも日本では当たり前でも他の国から見ると珍しい税金もあります。

それは入場税やワンルームマンション税です。入場税は温泉などの入浴者にかかる税金のことです。ワンルームマンション税は正式名「狭小住戸集合住宅税」といい、東京都豊島区で導入されている税です。この背景として豊島区における世帯構成とワンルームマンションの数にあります。ファミリー世帯向けの住宅が少ないことを表しており、これらの偏った住宅事情を改善するために導入されています。

このように世界には様々な税金があり、それぞれの国の問題を解決しようと導入されていることも分かりました。私は何でも解決したいから税金をかけるというのは解決できないと思うし、国民に負担が大きくなって反対意見が多くなってしまおうと思います。しかし問題を解決するには反対意見があってもやるべきことはやったほうがいいと思います。例えばイギリスのロンドンで導入されている渋滞税を日本でも導入することです。これは一年中ずっとではなく渋滞しやすいお盆やGWなどに導入すれば少しは効果を得やすいかなと思いました。他にも現在導入されているビニール袋有料化もSDGsに関わっていて、慣れたらエコバックが浸透してビニール袋を買う人が減少していくと思えました。人それぞれ価値観は違うので反対意見は必ずあると思いますが、意味があり解決されていく税金なら一時的な税金でも導入されるべきだと思います。税金は私たちが暮らしやすくするための費用なので一人一人がしっかり払い、助け合い税金の重要性を理解してもらえたら良いと思えました。

8支部だより

10月25日(火)午後2時から「私学振興予算要望期成大会」が共立講堂にて開催されました。当日は、820名の全国の私立小・中・高等学校から保護者や教職員が参加しました。本校からも教職員が1名出席いたしました。

当日は三宅しげき東京都議会議長をはじめ各都議会議員の方々が多数出席されました。主催団体の日本私立中学高等学校連合会の近藤会長からは国の私立学校教育へのさらなる支援要請について話され、保護者からも要望文が読まれました。

会は「私立学校教育の更なる充実のため、経常費補助の拡充強化」「父母負担教育費の公私間較差の是正」「施設設備等を含む教育水準維持・向上のための支援補助制度の拡充強化」を大会決議とし、力強く要望されました。

今年も終わりを迎えようとしています。新年に決めた目標に向かって努力を続けることができましたか。

来年 2023 年の干支は「癸卯（みずのとう）」です。「癸卯」は静かで温かい恵みの雨が降り注ぎ、草木を生き生きと蘇らせる年といわれます。皆さんの新しい 1 年が恵多く生き生きとした年になりますように！

I wish you and your family all the best for the holiday season and hope the New Year brings you all lots of joy and happiness.

